

一般財団法人筑波麓仁会 広報誌

2022

Winter

habatake

はばたけ

Vol.1

contents

はばたけ！ワタシ：院内呼吸療法認定看護師

つなぐ：きくち呼吸器内科クリニック



特集 「真心」への旅～筑波学園病院の歴史
さよなら、並木診療所

INDEX

特集

04 ~ 06

「真心」への旅
～筑波学園病院の歴史

08

さよなら、並木診療所

09 学園ひろば

10 はばたけ！ワタシ
院内呼吸療法認定看護師

11 つなぐ～連携医療機関
きくち呼吸器内科クリニック

今月の表紙



執刀する坂根正孝医師と麻酔を行う齋藤重行副病院長（奥）。当院では年間 5000 件を超える手術を行っています（2020 年度実績）。



雨の日も、晴れの日も

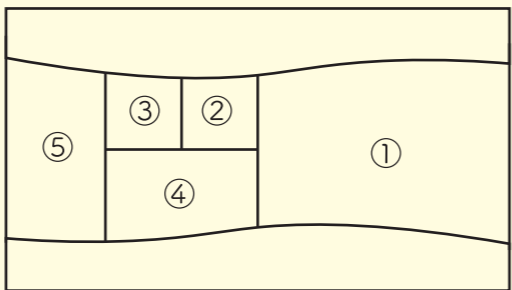
昨秋より休刊しておりました財団広報誌が、このほどリニューアル致しました。新しい広報誌は、赤十字、つくばの「T」、ナースを表現した天使の翼から成る当院のロゴマークから着想を得て「はばたけ」と名付け、医療従事者として地域医療と福祉に貢献しながら職員一人ひとりが個性を大切に、未来へ向かってはばたくーという願いを込めています。24時間365日、二次救急指定病院として、雨の日も晴れの日も地域の皆様の健康をお守りするとともに、今後とも適切な情報発信を行うて参ります。どうぞよろしくお願い致します。

「真心」への旅〜筑波学園病院の歴史

A Long Journey ~ roots of the hospital

四角形の敷地、9階建て免震病棟、電子カルテ、写真付きIDカード一。普段見慣れた筑波学園病院の風景からその歴史をひも解くと、真心で医療と福祉に貢献した先人の努力が垣間見える。「患者さんファースト」で時代に合わせた医療を提供した筑波学園病院の歴史を遡る。

取材／構成 編集部



①当院入口ゲート付近に建つ谷田部海軍航空隊の碑
②昭和62年頃。病院北側に結核病棟がある③GHQが撮影したとされる昭和23年頃の航空写真。枠内が当院敷地④航空隊の集合写真⑤桜村村長や筑波研究学園都市連絡協議会会長を務めた藤澤勤兵衛氏の像。松見公園の柱抜き塔横の丘に建つ



裁し、兵舎北側には患者さんの栄養補給用に養鶏場も整備した。1975年（昭和50）、筑波大学副学長で心臓外科の世界的権威として知られた榎原仟（しげる）氏の「関連病院2000床構想」を基に筑波学園病院が開設。当時の病院は第1病棟、第2病棟、結核病棟という構成で、1982年（昭和57）入職の清水一夫事務局長によると、中庭では昼休みキャッチボールに興ずる職員の姿が見られたという。「のどかな時代。兵隊さんも同じように余暇を過ごしたかもしれませんね」。老朽化に伴い結核病棟は1999年（平成11）に取



▼「県南の結核撲滅運動」の嚆矢

四角形の外周路に囲まれた病院敷地は、戦前、谷田部海軍航空隊（谷田部空）の飛行場だった。予科練で有名な霞ヶ浦海軍航空隊（霞ヶ浦空）の補助部隊として開設された谷田部空は練習機による訓練が中心だったが、戦局の悪化で首都防空の実戦部隊に。昭和20年春に特攻隊が編成され40人が南方の海に散った。当財団・藤澤順一理事長の父で桜村村長などを歴任した藤澤勤兵衛氏の自伝『勤翁自傳』によると、戦後の食糧難で地域では病人が続出。霞ヶ浦空（現東京医大茨城医療センター）の医務室を払い下げてもらった勤兵衛氏は、自らの家屋敷を担保に入れ銀行から融資を受け、結核の撲滅運動に乗り出した。航空隊の兵舎を利用した結核病棟は現在の薬局と第2駐車場付近に設置。1万坪の敷地には松を植

り壊されたが、同じ年に北関東初、病院では当時極めて珍しかった免震構造のA棟が竣工。結核病棟は4Ab病棟に移設され、病院機能評価取得のため基本理念と基本方針も策定された。職員同士、基本理念を書いた紙を携帯し復唱し合う姿が院内のあちらこちらで見られた。

▼患者さんファースト

同じ頃、折居和雄元院長（現・当院外科非常勤医師）は写真付きIDカードを導入した。当時、全国各地の病院で患者の取り違えが頻発しマスコミをにぎわせていた。「記録を残し、患者さんの顔と名前を窓口で確認することが大きなミスを防ぐ第一歩だと思った」と折居元院長。現在の原田繁院長と共に、オーダーリングシステム導入やPDA認証システムによる誤薬・誤投与防止等、患者さんが安心して医療を受けられる環境づくりに取り組んだ。ハード面と同時に、患者さんから届く投書箱の意見を院内掲示するようにしたのもこの頃。「時に耳に痛いご意見もあったが、良い病院になってほしいという

期待の表れ」だと思った。2015年からは患者さんとのコミュニケーションを取る時間を確保しようという電子カルテも導入された。

▼弱者に尽くす

2011年3月11日午後2時46分、東日本が激しい揺れに襲われた。病院は国内最大規模の揺れにもかかわらず、ほぼ無傷だった。通常建物は地震の揺れが直接伝わるため上階ほど激しく揺れるが、免震構造（積層ゴム）により三分の一五分の一度衝撃が低減。水は井戸水だったため透析患者を中心に県内外から多くの患者を受け入れ、職員全員で物品調達や計画停電に備えた。エレベーターが止まっているため入院患者への配膳は全員で階段を駆け下りした。

2013年春、正面入口脇の緑地に零戦をかたどった御影石のモニュメントが建てられた。毎年桜の咲く時期に元航空隊員たちが谷田部神社に参拝しているとの話を伝え聞いた藤澤理事長が「戦争の記憶や平和の尊さを次世代に伝えよう」と発案。式典には多くの関係者が訪れたほか、

戦後70年となった2015年7月には、在りし日の航空隊の姿を今に伝えるパネル展も開催した。

▼新しい時代へ

現在、24時間365日受入体制の2次救急指定病院として稼働している筑波学園病院には、スポーツ分野における日本代表チームドクターや脊髄治療の権威を擁する整形分野、男女それぞれ専門の不妊治療分野、つくば市産後ケア事業とも提携している産科病棟、地域の透析治療の中心である腎センター、県内4ヶ所・県南唯一の結核病棟など25の診療科を持つ総合病院となり、年間約25万人の外来患者が訪れる。2020年5月には健診センターを含む新外来棟（E棟）がオープン。開放感のあるエントランス（本誌2〜3ページ参照）に加え、待ち時間をスマートフォンで確認できるsmapa（スマパ）も導入。全国の病院でも珍しい全館WiFi環境も整備され、誰もが等しく医療情報にたどりつけるよう患者さん目線に立ったホームページのリニューアルも視野に入れている。

沿革（一部抜粋）

1949年（昭和24） 谷田部海軍航空隊跡地に新治協同病院谷田部病院開院
1951年（昭和26） 社団法人霞ヶ浦結核予防協会設立。病院名を筑波病院と改称（51床）
1953年（昭和28） 病院名を筑波厚生園と改称

1972年（昭和47） 病院名を筑波厚生病院と改称（一般病棟86床・結核病棟50床）
1975年（昭和50） 財団法人筑波麓仁会が設立され、筑波学園病院が開院（136床）

1977年（昭和52） 新治郡桜村並木4丁目に並木診療所を開設

1979年（昭和54） 第一病棟A棟完成、一般病床90床を増設

1980年（昭和55） 第二次救急医療指定病院となる

1982年（昭和57） 結核病棟（第三病棟）改修工事完成

1987年（昭和62） 総合病院名称使用許可。筑波学園高等看護学院（現・筑波学園看護専門学校）が開校。

1995年（平成7） 阪神淡路大震災。被災地に医療チーム派遣

1996年（平成8） 10月 北関東地区初の免震病棟（A棟）工事着工。老健そよかせ開設。

1997年（平成9） 開放型病院承認

1998年（平成10） 新棟一期工事完成（免震構造部分）、透析センター22床増床（80床）

1999年（平成11） 新病棟（A棟）、低層棟完成

2001年（平成13） D棟増築（HCU棟）。医療情報システム（オーダーリング）運用開始

2004年（平成16） 筑波学園高等看護学院が「筑波学園看護専門学校」に改称

2010年（平成22） HCU（10床）を開設し「2C棟」に改称

2011年（平成23） 東日本大震災で、透析患者を中心に県内外から多数の患者受け入れ

2013年（平成25） 4月、公益法人制度改革に伴い「一般財団法人筑波麓仁会」へ移行。ICU3床をHCU10床として再編

2015年（平成27） 5月 谷田部海軍航空隊記念碑建立

2月 電子カルテ・受付票発券機兼保険証確認機導入

4月 筑波学園看護専門学校新校舎（講義棟）完成。

7月 谷田部海軍航空隊戦後70年パネル展

2020年（令和2） 5月 新外来棟オープン

2021年（令和3） 3月 外来でWiFiサービス開始

12月 全国でも珍しい全フロアWiFiサービス開始



クリスマスカード、入院患者さんに手渡し
コロナ禍で1年ぶり、看護学生「良い経験に」

昨年12月24日のクリスマススイブ当日、筑波学園看護学校の学生がサンタクロースに扮し、筑波学園病院の病棟を回って患者さんにクリスマスカードを手渡ししました。学年間の交流と、患者さんとの交流を通して感性を養ってほしいと毎年恒例の行事となっていますが、昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で中止に。1年越しの開催に学生らは昨年10月から放課後などを使って500枚超のカードを制作。病棟ではLEDライトのロウソクとカードを手に各病室を回り、フロアの音楽もクリスマス仕様となるなど院内が一丸となって催しに華を添えました。

「感染防止対策で」病室から出られないので、とでもうれしかった。さっそく病室に飾りました」とこり。涙を流して喜ぶ患者さんもありました。2年生の白田香凛さんは「やってよかった。確かな技術と知識を備えた看護師になりたい」と思いを新たにしています。同校自治会担当教員の鷹尾和代さんは「入院されている患者さんに季節感を届けることができ、よかった。病院で実習を終えたばかりの学生にとってよい経験になったと思う」と話していました。

さよなら、並木診療所

Good-bye, Namiki Clinic 1977~2022



1977年（昭和52）春の開所以来、たくさんの親子を見守ってきた並木診療所が、来月45年の歴史に幕を下ろす。学園都市の発展と共にあった診療所が大切にしてきた「寄り添う医療」のある一日取材・構成／編集部



冷たい雨が一日中降り続いた12月のある日。時計が午後1時を指すと同時に、3つある診察室はすぐに埋まった。事務室にパソコンはあるが茶色く変色した紙カルテはまだ現役で、採血スピッツのラベルも手書きのまま。医師、看護師、事務員の連係プレーやダブルチェックは欠かせず息つく暇もないが、だからこそ仲間同士のコミュニケーションも密になる。



▼救え、医療難民
1963年（昭和38）秋、筑波研究学園都市の建設が閣議決定され、街の表情は一変した。首都圏から国の研究機関が次々と移転し、昭和52年1月に東大通りが全面開通。新治郡桜村は後に「人口日本一の村」として話題になった。開院翌年には並木小学校も開校。所

熱や咳、「おともだち」

長の柴崎佳代子医師が赴任した昭和60年当時、周辺には小児科がなく、それまで土浦市内の町医者までバスで通っていた「医療難民」は幼子を抱え診療所に列を成した。

▼寄り添うということ
看護師の塚本祐美さんは今年で勤続11年目。子育てに忙しかった90年代半ばのこと。熱が長く続いたわが子が血液検査を受けた。夜、電話が鳴った。「良くなったかしら?」。柴崎医師から検査結果と今後の治療について告げられた。久しく現場を離れていたが「患者さんに寄り添うってこういうことなんだ」と実感した。

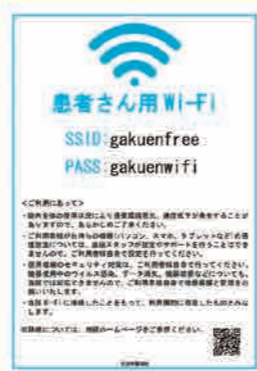


奥の診察室から子どもの泣き声が響く。その昔、子どもの病気といえはほとんどが感染症だった。「熱は病気で闘っている証拠。咳は体からばい菌を追いつけよう」。子どもの相手は看護師にバトンタッチ。親が先生との会話に集中できるようシール遊びや塗り絵などで「保育士役」

に早変わり。「子どもの食欲がなく心配」と言われれば「それは好都合ね。こんな時に食べたらかえって治りが遅くなりますよ」と柴崎医師。診察を通して親の子どもへの関わり方に変化がみられることも。昔に比べ栄養状態や衛生環境は格段に良くなり、子どもの感染症はずいぶん減ったが、代わりにアレルギーや心の病気が増えた。「小児科医の役割は最小限の薬を処方し、親と共にそばで見守ること。たくさん病気をして大きくなっていくんだから」。



全フロアで Wi-Fi サービスを開始



当院では、今年3月より外来にてWi-Fiサービスを開始しましたが、患者さんのご要望にお応えし、このほど病棟、腎センター、リハビリテーション室、健診センターにも拡大し全フロア対応となりました。利用

料は無料ですが、インターネット上の有料サービスは利用者負担となります。医師や看護師等から利用を中止する指示がありましたら従ってください。ウイルス感染、通信の傍受、情報漏洩や消失、不正アクセス、なりすまし操作、ご利用端末の不具合やその他の損害に関し、当院は一切の責任を負いかねます。ご利用の際は他の患者さんのご迷惑にならないようご配慮ください。

SSID : gakuenfree
PASS : gakuenwifi

小児科にバルーンアート寄贈



当院小児科病棟（5A病棟）のプレイルームにこのほどバルーンアート人形が飾られ、子どもたちを楽しませています。人形は、バルーンデザイナー

の神宮エミさんが、コロナ禍で入院した時に誰にも面会できず不安な中、親身になってサポートしてくれた看護師への感謝として全国の小児科病棟のある医療機関へ贈ったもの。クラウドファンディングで支援を集め、今年は全国100カ所の小児科病棟にバルーン人形を寄贈したそうです。人形の名前は男の子のemma(エマ)で、病棟の子どもたちの人気を集めているということです。5A病棟の高野紀子師長は「子どもたちにとって最高のクリスマスプレゼントになりました」と話していました。



きくち呼吸器内科クリニック

茨城県つくば市茨城県つくば市島名1851番地4

(香取台B55街区1)

TEL 029 (846) 2780

診療科：内科、呼吸器内科、アレルギー科

休診日：木、土曜午後、日・祝日

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 (9:00 ~ 12:30)	○	○	○	休	○	○
午後 (15:00 ~ 18:15)	○	○	○	休	○	休



※土曜は 13:15 まで診療、日曜祝日休



菊池 清和 院長

奉仕の気持ち、いつも心に

筑波山麓のふもとで生まれ育った。幼い頃、家庭の事情で医者を目指すことがかなわなかったという父親から「いつも奉仕の気持ちで人に接することのできる医者になってほしい」と言われ、いつしか医学の道を志すようになった。

埼玉県の獨協医大越谷病院で11年間学び、呼吸器・アレルギー疾患の治療に従事。その後は群馬県内の病院で専門領域に加え、生活習慣病をはじめとした一般内科疾患の診療に携わってきた。いずれは故郷に恩返ししたいという夢を温め続け、「患者さんが気軽に相談できるクリニックをつくりたい」とTX沿線に開院しもうすぐ4年目を迎える。コロナ禍でここ1〜2年呼吸器の受診者数は増加しているが、「いくら忙しくてもピリピリせず、思いやりの気持ちで患者さんに接したいですね」と優しい笑みを絶やさない。

3学会合同呼吸療法士の資格を持つ茅場真伊さん、木村梓さん、坂入真由美さん(右から) 12月22日、2C病棟



はばたけ！ワタシ

呼吸器疾患の重症者を診ることが多い2C病棟で、人工呼吸器の扱い方や呼吸器ケアについて他病棟と知識を共有するなど看護師の意識改革に努めている。

3年前、3学会合同呼吸療法認定士の木村梓さんが「呼吸器ケアの大切さ広めたい」と個人目標を掲げ院内認定看護師に。「継続看護に生かせれば」と呼吸音の聴取方法や異常音の聞き分けなどの詳細を記録に残そうと提案した。人工呼吸器のアラーム表示は機器側・患者側の原因、その後の対応などで時に75通りにも分かれるが、経験



人工呼吸器を操作する木村梓看護師

の浅い看護師でも迅速な対応ができるよう表を作成し可視化。やがて、木村さんの活動に興味を持った坂入真由美さんと茅場真伊さんも資格を取得。今では呼吸器医師や臨床工学技士などから成るRST(呼吸器サポート

2C病棟
院内呼吸療法認定看護師

チームと回診し、病棟看護師から寄せられた疑問に応えている。「口腔内の乾燥が強い場合は加湿器を併用する」「痰が溜まらないよう時々体の向きを変える」など診療科を横断した助言や患者さんのリハビリを行う職員にも痰の吸引方法を指導。呼吸器ケアに対する意識の変化を実感しているが、一番の願いは多職種と意見交換しながら患者さんの退院までを見守ること。活動報告を記した広報誌も配布中で「私たちの活動を知って呼吸器ケアに興味を持ってくれればうれしいですね」と前を向く。



男体山（871m）と女体山（877m）から成る関東の名峰。「西の富士、東の筑波」と称され、ふもとの筑波山神社は夫婦和合の神様として参拝者が絶えません。日本百名山の中でも比較的標高が低く、ケーブルカーと並走する御幸ヶ原コース（90分）、胎内くぐりや弁慶七戻りなど巨岩・奇岩巡りが楽しい白雲橋コース（110分）などコースも多彩。登山時は体温調整ができる格好で、足首や股関節を回す準備運動を入念に。下山後のストレッチが疲れを残さないコツです。監修：リハビリテーション科

「健診センターだより」公開中

当院では、健康診断や人間ドックに関する患者さんからの疑問に医師が Q&A 形式で答える「健診センターだより」を昨秋より発行中です。HP にもアップしましたので QR コードよりご覧ください。



リハビリテーション科市民公開講座 「在宅酸素をうまく活用するために」

日時：2022年3月5日（土） 14:00～16:00

- ①Zoom によるオンライン受講
 - ②来院での受講@E棟大会議室
- 申し込み：QR コード or HP から



肺気腫やリウマチ由来の間質性肺炎など、呼吸器疾患を持つ患者さんが在宅酸素療法（HOT）を導入する際に役立つ講座。呼吸器内科の船山康則医師が「なぜ酸素が必要なのか」を解説し、理学療法士が自宅での運動の仕方や酸素濃縮器の置き場所などをアドバイスします。

ご意見・ご感想を募集します

広報誌へのご意見・ご感想をお待ちしております。住所、氏名、年齢、性別をお書き添えの上、下記宛先までお送りいただくか E メールでお送りください。

【宛先】茨城県つくば市上横場 2573-1
筑波学園病院総務課 habatake 編集部
【E メール】info@gakuen-hospital.or.jp

編集後記

コロナ禍の中、記者から医療職に転職して約1年、ようやく新しい広報誌を届けることができました。表紙と裏表紙の写真は、昨年病院パンフレット刷新した時の一枚。その道のプロが集い一冊のパンフレットが完成したように、一人の患者さんが快復するまでには多職種の医療従事者が関わっていると、取材を通して実感しました。次号発行は新緑の5月。バックナンバーは近々 HP で公開します。

